



ひらせり リフォーム 施工事例

リフォームかわら版
vol.28

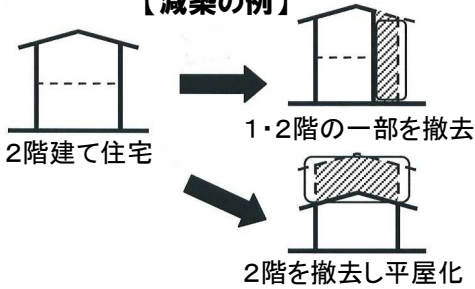
今回は、住宅のコンパクト化「減築」についてのお話です。

住宅を小さくして住みやすくする「減築」について持ち家世帯の42%が関心を持っているというアンケート結果が発表されました（国土交通政策研究所 平成22年8月）。特に50代の世帯で子供の独立を控えた方が減築に興味を持つ傾向にあるようです。
今回は減築による効果と減築の際のポイントについて考えてみました。



コンパクトにして
快適にする！

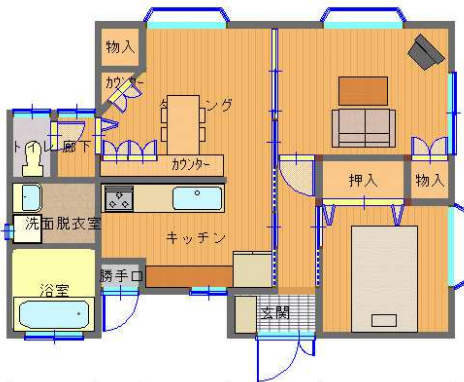
【減築の例】



減築による効果

- ① 日常管理(掃除などの家事)をしやすくする
- ② 1階に生活スペースを集中してバリアフリーにすると安心
- ③ メンテナンス(維持修繕)コストを節約できる
- ④ 平屋にすることで屋根加重を減少させ耐震性を高められる
- ⑤ その他冷暖房費節約や採光・換気的良好化、駐車スペースの確保等

【減築のプラン例(平屋)】



減築の際のポイント

減築と一緒にリフォームする場合は次の点も考慮したいですね。

- ① **バリアフリーによる安心な住まい**
床段差解消、浴室・トイレ・廊下など手すりを設置する。
- ② **断熱化による夏涼しく、冬暖かい家**
窓断熱、屋根・外壁、床に断熱材を入れエコな住まいにする。
- ③ **耐震性を高め安全な住まい**
耐震構造のチェック、必要な箇所は耐震補強する。
- ④ **家事がしやすい間取りにする**
水廻り等見直す場合は、家事のしやすい動線を考えて間取りを決める。

【施工例】



施工前

1Fの平屋部を解体して減築



施工後

減築したことにより駐車スペースが確保されました。また、今までなくて不便だったキッチン勝手口が取り付けられました。(W様邸)

「減築」はまだ浸透しておりませんが、少子高齢化の現在、住まわれる方に合わせて住宅のサイズをコンパクトにするのもひとつの考え方です。
手入れの行き届く大きさの住宅で快適に暮らしてみたいかがでしょうか。

お気軽にお問い合わせ下さい！

0120-312-341



エクステリア
住まいのお手伝い
事業部